

3年生の取り組み

平和学習～沖縄修学旅行を通して～

1. 修学旅行前平和学習

総合・学活・社会の授業で平和学習に取り組みました。「第二次世界大戦―沖縄戦に至った経緯」「沖縄戦の概要や戦後の状況」「ひめゆり学徒隊」等について学びを深めることで、生徒たちは改めて平和の大切さを実感していました。

2. 実行委員会の活動

修学旅行実行委員会は、しおり・広報係、レクリエーション係に分かれてそれぞれ活動しました。しおり・広報係はしおり作成や廊下掲示を、レクリエーション係は修学旅行1日目の夜、宿舎で行うレクリエーションの準備や司会進行を担当しました。また、折り鶴実行委員会では、3年生全員で折った鶴を糸でつなげて千羽鶴を作成しました。

3. 修学旅行 5月26日(月)～28日(水)

修学旅行1日目にひめゆり平和祈念資料館の見学とガマ入壕体験のあと、平和祈念公園で平和セレモニーを行いました。平和宣言文を代表生徒がしっかりと読み上げ、思いを込めて折った千羽鶴を奉納し、戦争で亡くなられた方々のご冥福と今後の世界に平和が続くことを3年生全員で祈りました。唯一の地上戦の場を実際に訪れるという貴重な体験により、平和を願う気持ちがより一層強くなりました。

平和宣言文

美しい空ときれいな海。80年前に自然あふれる素敵なこの場所で起こったのは、民間人をも巻き込む最大の地上戦でした。沖縄では民間人も含め20万人を超える人々が命を落としました。毎日のように鳴り響く銃声や爆撃の音。戦地ではたくさんの方が亡くなり、今では考えられないような上からの指示や間違った教育により、自決に追い込まれる人もたくさんいました。

「護郷隊」「ひめゆり学徒隊」のように、私たちと同じ年代の少年少女たちが戦争に強制的に参加させられ、命をかけて戦争の最前線で戦ったり、危険な地域で看護にあたりました。

この地には戦争によって命をうばわれた多くの方が眠っています。学ぶこと、笑うこと、夢を見ること、それらすべてが戦争でうばわれたという事実しに胸がしめつけられます。ひめゆり学徒隊の人たちの体験を私たちは決して忘れず、未来へ語り継がなければなりません。過去のあやまちを繰り返さないために、私たち一人ひとりが争いのない世界を願い行動していく責任があります。私たちはここに誓います。平和の尊さを語り継ぎ、だれもが安心して暮らせる未来を作ることを……。命の重みを忘れず今日という日を精一杯生きることを……。

